

多くの本は He, She のような代名詞のときは He is ... を He's ... と書いてあるが、それ以外は省略形を使わない本が多い。しかし、これだと生の英会話の姿を反映させていない。したがって、リスニングに際してどうしても不利になる。そこで本書では省略形を使える限り使って各文を書き上げた。よく一文一文を見られたい。この省略の発音に慣れるためにはCDが大きな力になってくれるであろう。CDで慣れておかないと、目だけで覚えた発音を相手に期待しているので聞き取れないことにつながるのである。

(B) CDで聞くことにより正しい発音を覚えられるだけでなく、各文の完全暗記にも大いに効果があるからである。耳から入れば、それだけ記憶に残りやすくなる。まず各文を最低80回音読する前に、一度発音とイントネーションを学習するため一通りCDを聞くことを勧める。読み方が分かったところで各文を80回音読する。その際、第1文目を80回読み終えるまでは絶対に2文目にいかないこと。80回自分で読む努力は必ずしよう。CDを聞いたからと言って、80回を減らしては駄目である。

英語口

英文法ができると英会話ができる 初級編2 目次

はしがき..... 003

本書の特色..... 018

文法テーマ別 英会話の公式 62 019

Lesson 01	肯定文中の something 「何か」	020
	something	
Lesson 02	疑問文中の anything 「何か」	022
	anything	
Lesson 03	否定文中の anything 「何も」	024
	anything	
Lesson 04	文頭での Nothing 「何も…でない」	026
	Nothing	
Lesson 05	肯定文中の somebody 「誰か」	028
	somebody	
Lesson 06	疑問文中の anybody 「誰か」	030
	anybody	
Lesson 07	否定文中の anybody 「誰も」	032
	anybody	